

オーダリング・電子カルテとは

オーダリングシステムとは

医師が看護師や薬剤師など医療技術職に対して行う指示内容を直接コンピュータに入力して正確にかつ迅速に各部門へ伝達するシステムです。

従来の手書き伝票（処方箋や検査伝票、画像指示箋、食事指示箋など）は、医師による指示が出された後、各部門への伝達に時間がかかり、患者様をお待たせする要因のひとつとなっています。

オーダリングシステムの導入により、指示された内容が瞬時に、正確に各部門へ伝達され、患者様の待ち時間が短縮すると共に、職員の伝票搬送の手間がなくなり、届け忘れが防止できます。

また、医師が直接コンピュータに入力することにより転記ミスによる事故防止、指示実施時のリストバンドにある患者情報との突合による事故防止のほか、重複処方・検査のチェック、薬品の配合禁忌チェック、病態による投与禁忌チェックなどの安全管理にも寄与します。



【 メリット 】

- ・ 外来患者様の待ち時間短縮。
- ・ 伝票届け忘れ、遅れがなくなる。
- ・ 事故の防止。（転記ミスの防止、各種チェックによる防止）
- ・ 重複検査、重複投薬の防止。
- ・ 診療報酬請求漏れの防止。
- ・ 蓄積データを基に経営分析、研究への利用。

【 デメリット 】

- ・ 医師の指示情報、各種記録類のカルテへの貼付・差し込み作業の増加。
- ・ 紙使用料の増加。
- ・ 業務の複雑化。
- ・ コンピュータ端末が増えることによる作業空間の狭隘化。

電子カルテとは

紙カルテに変わり患者様の様々な診療記録を電子的なデータとして、保管するシステムです。

したがって、オーダリングシステムの機能は全て電子カルテシステムに包括されます。

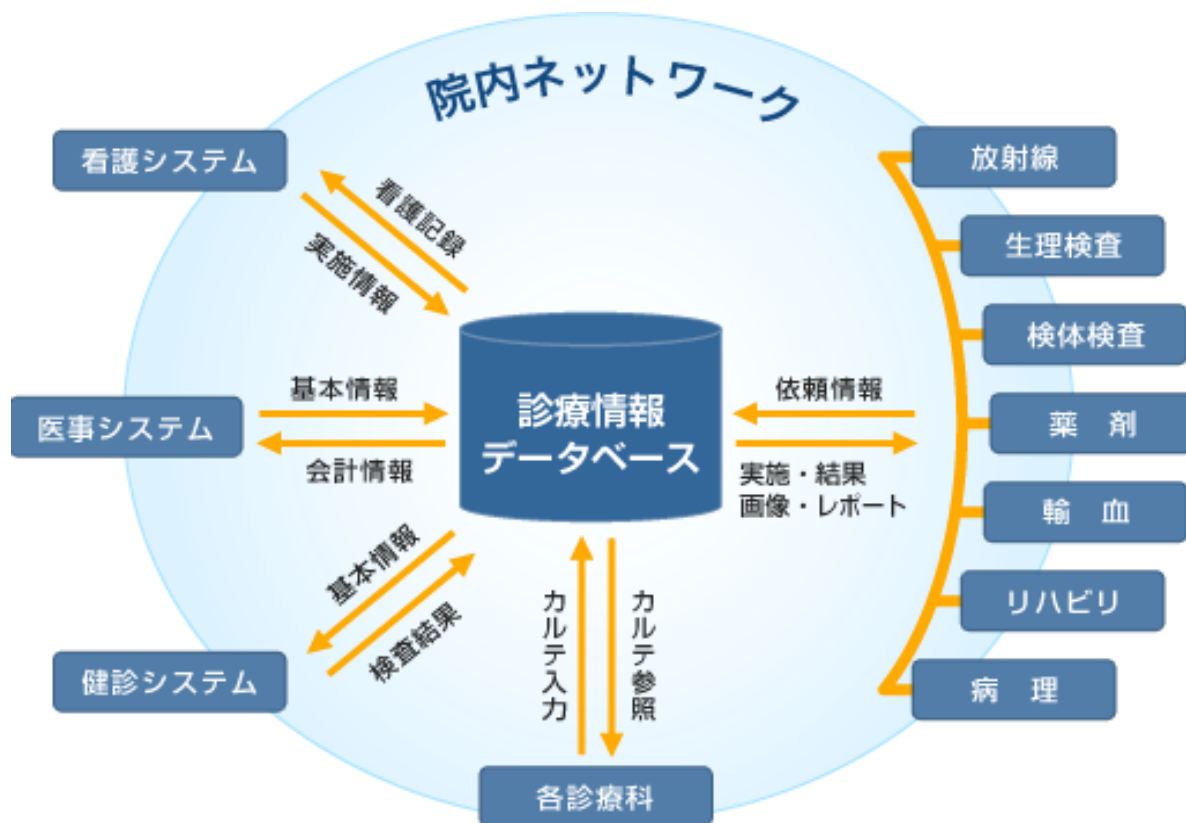
全てのコンピュータ端末で全ての患者様の情報が瞬時に、閲覧する事が可能となります。閲覧登録をされた人ならいつでも、同時に複数の職員が閲覧できるようになり、紙カルテの時にはあまりカルテを見る機会がなかった医療技術職の業務の質の向上につながるだけでなく、外来診察中に入院カルテを閲覧し、病棟に出向くことなく指示を出すことができるようになります。

基本的には全てコンピュータ入力になるため、貼り付ける作業は無くなります。

また、蓄積されたデータ等の情報を基に、画像結果や検査結果などを端末上に表示しながらビジュアル的に患者様への説明に役立つなど、インフォームドコンセントを支援します。

蓄積されたデータを基に経営状況の分析、研究への活用が可能となります。

物理的な面では、カルテ、フィルム類の保管が不要となり省スペース化が図れ、カルテなどの搬送時間もなくなり省力化も図ることができます。



【 メリット 】

- ・診療情報の一元化。
- ・カルテ参照や書込みの場所が限定されない。
- ・カルテ搬送が不要。
- ・医師の指示情報、各種記録類のカルテへの貼付、差し込み作業が不要。
- ・カルテ、フィルム保管場所の削減。
- ・オーダリングより多様な蓄積データを基に経営分析、研究への利用。

【 デメリット 】

- ・入力に時間がかかり、医師、看護師等の業務負担が増加。
- ・業務が複雑化し、融通がきかせにくい。
- ・オーダリング以上にコンピュータ端末が増えることによる作業空間の狭隘化。